

2020年度 事業報告書

一般社団法人子ども家族早期発達支援学会

1 事業の成果

当年度は、資格取得のための講座運営と資格認定・資格更新に関する事務、広く啓発のための公開講座、特別講座、学術集会に代わるシンポジウムの実施、学術誌及び会報の発行などの取組を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、事業計画を年度途中で見直さざるを得ず、当初予定より次の4点を変更して実施した。

- ① 早期発達支援士講座及びその公開講座のオンライン化による実施
- ② 東京都キャリアアップ研修の中止
- ③ オンラインによる特別講座の立ち上げ
- ④ 学術集会を「夏のシンポジウム」としてオンライン開催

当年度は、新たに早期発達支援士45名と早期発達コーディネーター2名を認定することができた。事業が継続して行われたことについては、現会員の理解と協力に加え、政府及び一般社団法人日本財団からの助成金によるところが大きい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【6,687】千円)

事業名	事業内容	日時	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数	事業費 (千円)
早期発達支援士資格取得講座とその公開講座 ※	当該資格の取得のための12講座の運営、及びその公開講座の運営	12/12, 12/13 12/19, 12/20	4名	会員及び一般	554人 (延べ人数)	1,602
早期発達支援コーディネーター資格取得講座とスキルアップ講座	当該資格の取得のための12講座の運営、及びその公開講座(スキルアップ講座)の運営	7/19, 7/24 7/25, 7/26	4名	早期発達支援士	207人 (延べ人数)	1,285
学術集会	オンラインによる「夏のシンポジウム」として半日開催	8/22	4名	会員及び一般	84人	418
特別講座 ※	月ごとにテーマと講師を変えて行う専門研修	9月～2月	各3名	会員及び一般	155人	1,056
学術誌「早期発達支援研究」発行	第4号となる学術誌の編集と発行	3月発行	3名	会員	600人	1,458
「会報」発行	会員向けの情報誌臨時号、第22号、第23号(最終号)の発行	6月、9月、 3月発行	3名	会員	600人	866

備考：「東京都感染拡大防止協力金」「持続化給付金」「雇用調整助成金」「小学校休業等対応助成金」を受諾した。※印の事業は、一般社団法人日本財団の助成を得て実施したものである。

(2) 収益事業

当年度は実施せず